

少子化の中求められる人になる

【大学進学は】

《2人に1人》

その45%は推薦で合格

少子化で競争はより激化してきた

2024年 日本の出生数は約72万人です。少子化が止まらず日本の教育機関にもその影響が出てきております。公立高校入試では受験倍率1.0倍を下回る高校と（特に人口減少地）人気のある高校では高倍率になる両極端な状況になっています。つまり自分の行きたい高校とライバルの行きたい高校が重なり倍率が高くなっています

これは 大学も同様で2024年 全大学の入学定員は約63万人（62万5000人）となっており出生数を考えると大学進学希望者がほぼ全員大学に入れるということになります（さらに大学進学が全てではありませんので将来の職業によっては専門学校進学を希望する学生さんもいます）が人気のある大学・学部などでは倍率は高くなっていて競争は激化しています

つまり 高校入試・大学入試 または中学校・小学校入試が一部人気になっている学校に集中しており、新課程（小1～高3まで全員その中にいます・例：高3は共通テストで情報が必修）のなか より難しく 負担が多くなった学習内容で お子様は学習していきます

偏差値だけじゃないプラスの能力・気概

最近特に注目されている大学入試が【総合選抜型入試】とよばれる一般にいうAO入試です
【総合選抜型入試】とは大学が求める学生像に対し 本人に求められる学力と大学が求める人物像を判断し合否が決まります

学力（共通テスト実施） + 面接や論文など各大学によって選抜方法は違います

例：東北大学医学部医学科の場合

人を対象とする生命科学や医学・医療に関わる学問に強い関心を持ち、旺盛な探求心と創造的な思考力と高い倫理観を有する人を求めています。 ~東北大学HP 2025年度募集要項より~

東北大学は2050年までに一般入試の募集を停止し、すべての入試を推薦にするという宣言をしています 要するに学力があるのは前提になり（あって当たり前）、大学が求める人物を選ぶ時代になってきているということです→選ばれる人間になることが大事だということです

この記事についてのご相談・ご質問は総合案内 022-722-8179→パーソナルワン蒲田東教室